

2025年10月21日

令和7年度 第1回 幼児教育学科 専任・非常勤教員合同会議報告書

期日 令和7年9月2日(火)

会場 医療健康学部棟 211 教室

担当 村上知子、三浦哲志(司会)、柴田英登

参加者 太田、石野、上野、柴田、百海、中村、三浦、村上、米川、喜多
改田、斉藤、鋪村、奥村、ガート、田中、表、河岸、黒崎、山田ゆかり、坂井(記録)

テーマ

「より良い授業のために教員側が守るべきルール作り Part2」

1. 学科長挨拶

2. 各部報告



3. 話題提供 (柴田)

令和6年度、第2回幼児教育学科専任・非常勤教員合同会のテーマ「より良い授業のために教員側が守るべきルール作り」を引き続き考えて行くために、専任・非常勤の先生方と意見を交わしたい。

授業をする教員が困ってしまうような学生の授業態度について、どのような指導が必要なのか。そのような学生に対して、教員が先走って支援しないといけないわけではなく、学生が自ら行動できるような支援を目指していきたい。しかし近年、学生の傾向として、打たれ弱さが目立つため、教員側の意見を伝える時には、注意が必要である。具体的に、学生の悪い面ばかりを指摘するのではなく、良い行動ができた時には褒めることで、学生は否定的な感情を減らすことに繋がるだろう。

令和5年度の合同会議では、「教員は一人の大人として学生を守っていく姿勢や叱ることや褒めることを続けていき、学生と教員が互いに、思いやりを持てるようにする」ことを共有した。

それをうけて、令和6年度の合同会議では教員が守るべき2つのルールを設けた→ ①原則、スマホは使用しない。(授業で必要な場合は、理由を説明する) ②時間を守るように指導する。(遅刻等)

今年度前期を終えてそれぞれどのような意識を持って指導していたか、また授業中の学生の様子について、グループで意見交換していく。

〈令和7年度 グループワークで出た意見〉

① 現在の学生の様子について

- ・休み時間にすべきことができず、教科書を取りに行ったり、授業中にトイレに行く学生がいる。(トイレに関しては、生理現象なので対応や指導が難しい)

- ・「知らない」「悪気がない」という学生がいるが、そのような学生は経験不足からくるものなので、教員は諦めずに伝えていく。
- ・学生のレベルの幅が大きく、授業の難易度の設定が難しい。できる学生に合わせると、できない学生にとっては難しい課題となり意欲の低下に繋がることが懸念される。しかし、難しい課題でも頑張っ取り組もうとしている学生が、納得できるようにしていかなければならない。
- ・居眠りをする学生が目立つが、グループワークを取り入れて居眠りを防止する。分かりやすく伝えていくために、日常のエピソードや、アニメなどを取り入れていく。また、授業中に緩急をつけるために憩時間を作り、歌唱や、ストレッチ、ゲームなど、体を動かすことを取り入れる。
- ・教室の整理整頓、身だしなみ、
- ・教員が注意をすると投げやりになる。素直に受け止められない。
- ・学ぶことへの意欲が低下。

② 意欲的に授業に取り組めるような環境を作るためのルールについて

- ・専任教員・常勤教員関係なく積極的に学生に挨拶をし、学生自身からも自然と挨拶ができるようにしていく。
- ・TPOを考えて身だしなみを整えることができるように、どのような服装が良い・悪いのか、適しているのか理由を具体的に伝えていく。
- ・授業中のマナーやルールは、それぞれの担当教員で考え伝えていく。ルールは、授業担当者の価値観を持って指導をすることになるが、教員それぞれが違った考えを持っているということが学びとなるだろう。

● 合同会議を受けて、令和7年度 教員が守るべきルールを共有した。

- ・原則、スマホは使用しない。(授業で必要な場合は、理由を説明する)
- ・教員自身が時間を守り、学生にも時間を守るように指導する。(遅刻等)
- ・学生に積極的に挨拶をする。
- ・学生の礼儀・マナー・身だしなみについて、理由を伝え指導する。

伝え方次第で、学生は変わって(成長)いく。どのように行動していくのかを学生自身が考えることができるように、専任、非常勤共同で、今の学生を支え、よりよい学びができるようにしていきたい。